

## 銀座パレードで 「集团的自衛権行使 容認反対！」をアピール

閉会后、奥平、澤地、小森さんを先頭に参加者全員で東京駅近くまで約2kmをパレード。

各九条の会の幟旗が林立（その中には芦屋「九条の会」のグリーンの幟も翻る）、各自が「集团的自衛権行使容認反対」のプラカードを掲げ、「戦争する国づくりを許さない！」「憲法9条を守れ！」等をシュプレヒコールしながら行進した。3連休最終日の多くの人で混雑する銀座の街では、私達の訴えに応じて沿道から激励の声や手を振る人もいてにぎやかなパレードとなった。

「九条の会」としては初めてのパレードだったが、思いを同じくする全国の多くの仲間との連帯・絆を深めるとともに、衆院選を間近に控え「安倍政権にNO！」を突き付け、世界に誇る憲法9条が輝く平和な日本を守り抜くとの気持ちを一層強めることができた一日だった。

<片岡 隆>



### 憲法カフェ

2015年2月21日(土) 14:00~16:00

場所：リードあしやC室

講師：小谷成美さん

(あすわかの弁護士)

\*お話の後はフリートーク(コーヒーとお菓子付きです)

## 君は少国民を 知っているか

数年前に観覧した神戸大空襲展で、今でも目に焼き付いている展示品が一つあります。朝日新聞社発行の「週刊少国民」(昭19・3)の表紙です。体操服姿で頭に白いはちまき巻いた小学校低学年らしき血色の良い少女が、右の拳を振り上げている写真。添えられた文が「やがて見よ。敵に勝ちぬくこのこぶし!」あまりの迫力に私はドン引きでした。

1941年、国民学校ができた頃の児童たちは「少国民」と呼ばれ、実践力の予備軍として育成されていたそうです。このあまりに真っ直ぐな「少国民」を見た大人たちは、より立派な「皇国民」であらねばと自らに言い聞かせたのでは、と私は想像いたします。

大人社会が子供たちに引っぱられちゃうってことも、場合によってはありますよね。  
<神戸市東灘区 山田 章(50代男性)>



### 芦屋「九条の会」10周年記念のつと

#### 対論「9条対決！」(仮題)

テレビや新聞で目にする「集团的自衛権」「秘密保護法」「改憲」など。日本国憲法9条を焦点に、活かす派・変える派の言い分を比べて聴こう!

2015年5月16日(土) 13:00~

場所：芦屋ルナ・ホール

パネラー：柳澤協二氏(元防衛官僚)

VS 川上高司氏(拓殖大学教授)

(コーディネーターは

かもがわ出版編集長の松竹伸幸氏です)



\*終了後ピースウォークを行います